

なごやか地域福祉2029の策定状況をお知らせするためのニュースです。

2024.10
第47号

なごやか地域福祉

ニュース

発行：なごやか地域福祉2029策定事務局

令和5年4月から、次期計画「なごやか地域福祉2029」の策定を行ってきました。
今回は、策定の経過についてお知らせします！

市政アンケート、関係団体等へのアンケートの実施（令和5年10～11月）

市政アンケート 関係団体等アンケート

地域福祉を進める際の課題や福祉ニーズ、対応状況等を把握するため、一般市民（市政アンケートとして実施）、社会福祉法人、NPO法人、ボランティア団体、企業、市内の大学、地域福祉推進協議会（267学区）、民生委員・児童委員、いきいき支援センター、障害者基幹相談支援センター、仕事・暮らし自立サポートセンター、子育て支援機関等に対しアンケート調査を実施しました。

内容は、名古屋市と社会福祉協議会の関係する様々な部署の職員で検討したうえ、市民委員を含む外部委員からなる作業部会で協議して決定しています。

福祉活動等の現場視察（令和5年11～12月）

中村区豊臣学区地域福祉推進協議会

高齢世帯を訪問して困り事を伺う「おたがいさま・出前相談」やふれあい給食サービス、地域支えあい事業などを熱心に行っている学区。新たに高齢者の居場所として、サロン「コミセンひろば」を開設したとのこと。月1回、活動の報告や課題等の検討をしている「支えあい会議」の様子を視察しました。



まるいけスマイル（港区）

港区の市営丸池荘に多くの外国人が引っ越してくるようになり、様々なトラブルも発生していたことから、外国人の子どもたちの日本語指導・学習支援として日本語教室「まるいけスマイル」を集会所に開設。今では遠い場所から教室まで通っている子どももいるとのこと。外国人の子どもたちの居場所となっている様子を視察しました。



公式ウェブサイトでは、策定の経過及び推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉2020

検索



つなしょ（守山区）

「人と人がつながる場所」から「つなしょ」と名付けられたコミュニティ喫茶。幅広い世代の人が集まりつながれる場所として、駄菓子屋や子ども食堂、フードパントリーを行っており、子育て世代の方や学生、高齢の方がボランティアスタッフとして活躍しているとのこと。複合的な課題を抱える子どもや大人の相談を多く受けており、行政のサービスが行き届かない支援ニーズにも対応している現場を視察しました。



大学生による団地コミュニティの活性化 （中川区市営万場荘）

名古屋市住宅都市局、名古屋市住宅供給公社、同朋大学で団地コミュニティの活性化を目的とした市営住宅への学生入居事業を実施。現在は5名の大学生が入居しており、自治会の活動への協力として、清掃作業やコープの買い物支援等に参加しているとのこと。

今回は、入居学生が企画した「D-1 グランプリ（入居学生と入居している地域住民による漫才コンテスト）」の様子を視察しました。



ささしまサポートセンター（中村区）



生活困窮者がその人らしい生活を営めるよう、個々に寄り添いながら医療相談や生活上の支援等、様々な事業を展開されているとのこと。今回は、独自事業の一つ「みちくさカフェ」（軽食を提供するなど来所しやすい環境をつくり、アットホームな雰囲気の中で自然と健康管理を意識できるように工夫した健康相談事業）の様子を視察しました。

地域福祉に関する懇談会、作業部会（令和6年6月～11月）



令和6年第2回作業部会の様子

現行計画の「なごやか地域福祉2020」をもとに、見直しや新たに追加すべき内容について、「名古屋市と社会福祉協議会の関係部署で検討」→「検討結果を作業部会に報告し協議」→「作業部会で協議した結果を懇談会に報告し協議」というステップを経て協議することにより、地域福祉に関係する多様な関係者の意見を取り入れながら、次期計画「なごやか地域福祉2029」の文案作成を進めています。

こんなふうにして「なごやか地域福祉2029」は作られているんだね！12月にはパブリックコメントがあるんだって！

【編集・発行】

名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367

©公式ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/> トップページ＞市政情報＞分野別の計画・指針・調査結果＞名古屋市地域福祉に関する計画

